

令和2年9月1日

部農会長・部農会会員の皆様へ

J A 伊 豆 の 国  
韮山営農センター

## 第9回 (9/1号)

# 水稻病虫害発生予察の結果について

**警報**：管内で秋ウンカによる坪枯れ症状が見られました。今回の病虫害発生予察においてもトビイロウンカ（秋ウンカ）と思われる害虫が各地区で見られました。静岡県全域でも秋ウンカによる坪枯れ症状が報告されています。自身や周辺の圃場に注意し、早期防除を心掛けてください。

### ①生育状況

平坦地は開花期～乳熟期（粃を潰すと白い液が出る時期）となり、前年同程度の生育となっております。長岡・大仁地区では粃が固くなり始めていました。山間地は収穫期に入る圃場が見られました。収穫適期は穂の中で緑色の粃が10%残る頃が適期になります。

### ②害虫状況

管内においてどの地区でも秋ウンカの発生が確認されています。今後どの地区においても坪枯れ症状が発生してもおかしくありません。全体的にウンカ発生数が少ないと思える圃場でも、ある一か所においては1株に50～60匹ウンカが付いている圃場もありますので、安心せずに防除の継続をお願いします。

### ◎今年秋ウンカが圃場に発生していることを前提に…

現在までに防除をしていない方は早急に薬剤防除を検討してください。すでに防除を行っている方は、再度自身の圃場のウンカ発生状況を確認してください。

### ③資材紹介

<予防的薬剤…坪枯れ発生前に数を抑えたい方>

#### ○スタークル粒剤

薬量：3kg/10a 使用回数：3回

時期：出穂～出穂10日後（穂が傾いた頃）

備考：カメムシ以外にもウンカ類やヨコバイ、ニカメイチュウ等の害虫にも効果あり  
湛水状態で散布、4～5日は湛水状態を保ってください。

<防除薬剤…すでに坪枯れ症状が発生している方やウンカの発生量を減らしたい方>

#### ○トレボン粉剤DL

薬量：3～4kg/10a 使用回数：3回

摘用：ウンカ類、カメムシ類、コブノメイガ、ヨコバイ類 等

備考：株元にかかるように散布。

※除草剤に限らず水田に薬剤散布をする場合は、7日間は落水をしないで下さい。